

第6回 藤井寺市地域公共交通会議 会議録

日 程：令和7年7月24日（木）10時30分～11時35分

場 所：藤井寺市役所 3階 305会議室

出席者：別紙参照

会議議題：1. 開会

2. 委員紹介

3. 議事
- （1）前回交通会議議事の振り返り
 - （2）実証運行計画の修正案について
 - （3）実証運行に関する報告事項について
 - （4）検討事項について
 - （5）今後のスケジュール案

4. 閉会

傍聴者：1人

議事内容

1. 開会

2. 委員紹介

- ・配布資料の確認
- ・代理出席者のみ報告し、委員18名の内15名の出席により本委員会の成立を報告。

3. 議題

事務局より報告

- 7月10日に実証運行の運行事業者を選定する入札を行った結果、近鉄タクシーが落札し、7月22日に本市と契約を締結した。

議事（1）前回交通会議議事の振り返り

議事（2）実証運行計画案の検討

＜事務局より説明＞

井本委員

- 割引制度の説明（p5）が分かりにくいので、住民の方へはわかりやすく周知してもらいたい。
- 路線バスに乗り継いだときは、デマンドの割引分も近鉄バスで対応するのか。

事務局

- 路線バス乗り継ぎ割引の運用方法については「利用者の方から事前に市に申請を行っていただき、市から割引券をお渡しする」ということを考えている。
例えば、デマンド交通から路線バスを利用した場合。デマンド交通では、通常料金の200円をお支払いいただき、次の路線バスでは、事前にお渡ししている割引券と差額

分を運賃箱に入れる。

○路線バス会社は割引券の枚数を集計して市に請求し、市から支払う。

○このような方法とする理由は、先にデマンド側で割引をしてしまうと「乗り継ぎする」と言ったにも関わらず「乗り継ぎしない」などの不正利用の可能性があるためです。

井本委員

○逆に、路線バスからデマンド交通に乗り継いだ場合はどうなるのか。

事務局

○割引券での対応となりデマンド側では通常料金をお支払いいただくため、どちらが先でも対応できる。

井本委員

○路線バスからの乗り継ぎと言っても、本当に路線バスに乗っていたか分からない。

事務局

○割引券を渡す際は申請書で電話番号や住所を確認する予定。また割引券に番号を付け誰が利用したかわかるようにするため、不正利用に対して一定の抑止力になると考えている。

栗原委員

○乗り継ぎ割引の適用に時間制限はあるのか。大阪の梅田駅では、御堂筋線から谷町線など乗り継ぎに時間制限がある。途中で買い物をしても良いのか。

事務局

○時間制限は設けていないが、乗り継ぎ割引の適用を受ける場合は、乗り継ぐ直近の交通に乗っていただくことになり、途中での買い物は認めない。その様な利用が多くなり、趣旨と違ってくれば、確認方法など実証運行の中で検討する。

○割引券の発行に関しては、路線バスへの乗り継ぎのみを考えている。デマンド同士は予約時に分かるので、運用方法は委託業者である近鉄タクシーと調整する。

猪井会長

○制度を厳しくしすぎると使いにくくなるので、これで運用してみて、想定していない使い方が出るようなら実証運行の中で変えていければと思う。

林委員

○支払いは現金のみか。

事務局

○現金のみで考えている。

上田委員

○乗り継ぎ割引の説明や利用できる条件などが分かりにくい。

○停留所の看板は分かりやすくしてほしい。

事務局

○割引の重複を整理した結果、掲載した資料となった。9月の説明会では分かりやすい表現にしたいと思う。

○停留所の看板も分かりやすいものを考えている。

猪井会長

○このような修正案で実証運行を承認することに異議はないか。

・ 全員承認

議事（３）実証運行に関する報告事項について

＜事務局より説明＞

猪井会長

○セレモニーでは、幼稚園などと協力して子どもに来てもらってはどうか。子どもが来ると親も来るので、若い世代も巻き込んでいけるのではないか。

山脇委員

○停留所の設置はいつ頃完了するのか。

事務局

○警察協議や地権者との協議はほぼ終わっている。

○看板は一部仮のものになるかもしれないが、10月1日には停留所の位置が分かるようにする。

上田委員

○時刻表はあるが、予約せずに行っても乗れるのか。

事務局

○乗れない。予約が必要。

谷口委員

○乗り継ぎの割引設定が分かりにくい。分かるようにしてほしい。

事務局

○9月の説明会では分かりやすい表現にしたいと思う。

議事（４）検討事項について

＜事務局より説明＞

猪井会長

○よく使う人や上手に使っている人にインタビューして、それを発信することが大事だと思う。アンケートなどで数値を把握することも大事だが、どう使っているか、具体的な「物語」を紹介することも大事だと思う。ショート動画などで「物語」を紹介するのはどうか。藤井寺市のPRにもなるし、地域の方に利用の仕方を理解してもらいやすくなると思う。

上田委員

○事業評価で「1日10人以上」とある。今のバスは利用者が少なく、もったいないと思っていた。多くの人に利用されるよう周知していただきたい。

井本委員

○どれだけ周知されているかも大事なので、何でこれを知ったかをアンケート項目に入れておいた方がいいのではないか。

○乗合率を出すときに、たまたま乗り合ったのか、グループ利用なのかが分かるように、何人で利用したかを聞く項目もあるとよい。

衆原委員

○既存交通にどれだけ影響を及ぼしているのか分かりますといいので、タクシー会社やバス会社にもアンケートを取るとよいのではないかと。

坂部委員

○デマンド型タクシーで乗り合った場合、降車場所が違えば乗降の順番が入れ替わることがある。後から乗った人が一度降りて、また乗らなければならないこともある。
○予約時に降車場所を聞くので、それを伝えてもらえれば、いちいち降りなくてもいいような配慮ができる。

安岡委員

○アンケートの調査方法で電話調査とあるが一般的なのか。不審な電話と勘違いされることはないのか。

事務局

○市の番号から電話する予定で、事前予約をいただいた上での電話調査なので、アンケート用紙の配布以外にこれも一つの方法だと考えている。
○回答率が上がらない場合は、アンケートの調査方法を再度考えたいと思う。

猪井会長

○市の番号からかかってくることになるので、全く利用したことがない人よりは、抵抗感がないのではないかと。
○特に影響を受けるのは松水苑だと思うので、使いにくいことはないかなど聞いて、改善できるところは改善してほしい。
○項目等の設定は最終私と事務局に一任していただいて、このような形で調査を実施することについて、これでよろしいかと。

・ 全員承認

猪井会長

○調査結果等は、事業評価もしなければならぬので、1月に報告いただけるよう事務局にはお願いしたい。

議事（５）今後のスケジュール案

＜事務局より説明＞

大家委員（総務部）

○次回は1月下旬とのことだが、評価の結果、もし次年度予算に影響するならば、もう少し早めに対応しなければならないと思う。

事務局

○4月以降に新たに何らかの行為をしようと思えば、2ヶ月の申請期間が必要なので、1月下旬には開催する予定で考えていた。改めて開催時期については調整したい。

安岡委員

- 我々の施設でもアンケートを取っているが、配布しても返ってくるのは数%だけ。返ってきた中では「満足」が多いが、本当にそうなのか分からない。
- 利用者アンケートはしっかりと取ってほしい。

猪井会長

- アンケート結果の賛否の否より、無関心の方が怖い。
- 藤井寺市民に自分事として考えてもらうことが大事。
- 「満足していない」という答えを恐れる必要はなく、利用した上での回答なので、関心を持ってくれているということである。
- 継続していくために、利用者の満足度を上げることは大事だが、高齢になって車の運転ができなくなっても藤井寺に住み続けるためには何をすればいいかを考えてもらうことも大事。
- 悪しき評価を懸念し限定したところに聞くのではなく、色々なところで話を聞いてほしい。

上田委員

- 予約など手続きが難しい。誰でもいつでも利用できる方法があるのが前提にあるべきだと思う。
- 「有料にはなるが、いつでも利用してください」と言えるように、あらゆる方法でPRしてほしい。

栗原委員

- 説明会でどこまで理解してもらえるかが大事。説明資料も更新しながら、分かりやすいものにしてほしい。

山脇委員

- イベントとかで人が多くなった場合、どうするのか。

事務局

- 人数は事前予約で分かるので、増車で対応してもらえるようお願いしている。

猪井会長

- 以上、質問等ないので、議事進行を事務局にお返しする。

事務局

- 本日の会議録は、後日 HP で公表する。
- 次回の会議は1月下旬を予定しているが、再度調整の上案内する。

4. 閉会